

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
美原区の魅力づくり推進事業		美原区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
区民や地域の事業者などの多様な主体と連携することで、区の魅力を区民目線でしっかりと発掘・再認識し、美原区の魅力を広く発信する。	黒姫山古墳周辺で古代米関連イベントを実施することで、区の特徴である「農業」と「歴史」を身近に感じる機会を市民に提供することができる。また、市民協働で古代米の栽培・特産品開発等に取り組むことで、区民自身による区の魅力の発掘・再認識に貢献することができる。	古代米プロジェクト 協力事業者数	35	41	39
		イベント(田植え体験、稲刈り体験、料理教室)参加者数	128 (田植え+稲刈り)	117 (田植え+料理)	49 (稲刈り)
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 市民協働による農作業体験イベントや特産品開発などを通じて、区の特徴である「農業」と「歴史」を活かした魅力あるまちづくりを推進する本事業は、美原区まちづくりビジョンに沿った取組であり、行政が実施すべき事業である。	◎ 稲刈り体験イベントは、美原区内で古代米を生産・販売している任意団体「美原の古代米プロダクト」の協力を得て実施した。また、市民協働で地元農家の方が農作物を消費者に直接販売する「美原朝市」を、第2・4土曜日に区役所で開催している。	◎ 区民が育てた「美原の古代米」は、NHKの情報番組や農業情報誌で取り上げられるなど、区内外から注目されており、古代米や古代米を使った加工品を特産品として広くPRすることで、美原区の魅力を広く発信することができる。	○ 農作業体験イベントには、美原区外の人も参加してくれるので、美原区の魅力を効率良く広くPRすることができる。また、協力事業者も自身のSNSなどで情報を発信してくれるので、効率良く美原区の魅力を発信することができる。		
⑤自立発展性	総合評価				
◎ 協力事業者同士で連携して古代米フェアを開催するなど、民間同士での取り組みも行われ始めた。稲刈り体験イベントも区民が主体となって運営できているので、今後さらに活動の輪が広がれば、農業の活性化とともに自立発展する見込みがある。	◎ 美原の古代米の取り扱いをやめたり閉店したりした事業所があったため、全体の古代米プロジェクト協力事業者数は減ったものの、大阪市内で美原の古代米を料理で提供する事業者、食品以外の特産品(せっけん)を開発した事業者など、今年度は新たに3事業者が加わった。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で田植え体験イベントは開催できなかったが、2年ぶりに稲刈り体験イベントを開催し、美原区の魅力をPRすることができた。また、障害者支援施設に古代米の商品化作業の一部を担ってもらうことで、就労支援にも貢献できるなど、多方面に好影響を与えている。				
拡充 継続 見直し 廃止	・古代米関連イベントは受付開始からすぐに定員に達するほど人気があり、たくさんの人に参加してもらえるなど一定の成果が挙げられていることから、継続して事業を実施していく。 ・区民によって立ち上げられた任意団体を中心となって活動しているが、さらなる事業発展を図り自立させるために、行政として協力事業者の開拓や後継者育成を支援する。				